

地域の実情と課題

- 高萩市の女性就業率におけるM字カーブは浅くなってきているものの、30歳から34歳の女性就業率は、茨城県の値を下回っている状況である。今後、人口減少社会が進むにつれて、働き手の不足や労働人口の減少が大きく懸念されることから、女性の能力は不可欠であり、幅広い分野での多様な働き方が選択できる社会の形成が必要である。
- 令和2年度に実施した市民アンケートによると、家庭生活において男女が「平等である」と感じる市民の割合は女性が25.0%と低い数値であり、男性の家事・育児への積極的な参画の啓発を推進する必要がある。

事業の特徴

- ◆女性が輝く家庭づくり事業◆
- 男性向け家事・育児セミナー、親子料理教室の開催
女性が働きやすく、また再就職や起業などにチャレンジしやすい家庭環境を作るため、家族で参加可能な男性向け家事・育児セミナーと親子料理教室を開催する。
- 中学生向け出前講座
茨城県と協働し、中学生の親しみやすいゲームを教材に取り入れ、アンコンシャスバイアスをテーマとした出前講座を行う。
- 子育て中の方の再就職準備セミナー
ハローワーク、北茨城市と共催し、子育て中の方のための再就職準備セミナーを行う。

事業の効果

- 家族で参加できる形にしたことで、子供と一緒に夫婦で参加する姿が見られた。家族同士で気持ちを話し合うワークを設けたことにより理解が深まり、参加者は家事・育児を自分事として捉えるようになった。
- 無意識に受け入れていた固定観念に基づく役割分担を見直し、家族全員が主体的に家事に関わることの重要性を学ぶ機会を提供できた。
- 進路や職業を選択する年齢層へ啓発講座を行うことで、社会的な期待や固定観念から解放され、自分らしい生き方を選択するよう促すことができた。

目的・目標

- 【目的】
 - 固定観念に基づく役割分担や社会的期待から解放され、誰もが性別にかかわらず新たなライフスタイルを確立する。
 - 男性や若年層に向け、性別役割分担や無意識の思い込みについて考える機会を創出し、意識啓発を図る。
- 【目標】
セミナー受講後アンケートで、今後家事・育児に積極的に参画すると回答した割合目標値60%→結果80%

連携団体

- 高萩市女性活躍推進協議会
【協議会の構成】
高萩市、高萩市商工会、JA常陸農業協同組合、高萩市金融団、高萩市学校長会、高萩市公共職業安定所、市内企業
- ハーモニーたかはぎ(男女共同参画推進市民団体)
- ハローワーク高萩 ●北茨城市
- 茨城県ダイバーシティ推進センターぱらりす

今後の課題

- 若年層・男性向けの啓発については、徐々に理解が進んでいる。実践的な手法等を学べるよう、回ごとにテーマを決めた連続講座にする等、内容を検討する。

事業の概要

親子料理教室：ベトナム料理にチャレンジ！親子料理教室

- 日時 令和6年12月1日(日)10:00～13:00
- 参加人数 10組21人(保護者10名(うち男性3名)、子11名)
- 高萩市の男女共同参画推進団体であるハーモニーたかはぎと共催。子どもたちは調味料の計量、大人は揚げると、親子で声を掛け合い、分担して2品を完成させた。参加者からは家族で食べたい、またみんなで作りたいたいの声が聞こえた。

- 受講して「とても参考になった」の回答が100%
- ・子どもと初めての参加でしたがとても楽しく参加できました。また参加したいです。 など

家事・育児セミナー：

仕事も遊びも子育ても！スーパー主婦のワーク・ライフ・バランス提案

- 日時 令和6年12月1日(日)14:00～15:30
- 参加人数 合計32名(大人22名、子10名)
- 家族で参加できる家事シェア、ワークライフバランスをテーマとしたセミナーを実施。講師からは、家事は楽しく暮らすための手段であること、やらなければいけないではなく、楽しく暮らすことの優先順位を上げることの重要性について話があった。また、セミナー内で家族同士で自身の気持ちや将来について話し合う時間を作り、参加者はワークを通して自分事と捉え、理解を深めていた。

- 受講して「とても楽しかった」の回答が85%。
- ・パートナーと互いにスピーチする内容が1番印象に残った。夫の考えを改めて聞いて良かった。
- ・家事は楽しく過ごすための手段というフレーズが印象に残った。 など

中学生向け出前講座：

ゲームで学ぶ！身近にある「ダイバーシティ」とあなたの中の「アンコンシャスバイアス」

- 日時 令和6年10月2日(水)
- 9:40～高萩中学校、11:35～秋山中学校、13:40～松岡中学校 各50分程度
- 茨城県ダイバーシティ推進センターほらりすと共催し、茨城県が作成したWebゲームを教材に各学校で出前講座を行った。Webゲームは中学生にとって親しみやすく、集中して取り組む姿が見られた。難易度が高めのため、授業後に家庭でもチャレンジしたいとの声も聞こえた。

- 新しい気づきが「あった」「たくさんあった」89% ■自分の生活と関連付けて「考えられた」「たくさん考えられた」83%
- ・自分の中で勝手に決めつけていることがあるということに初めて気づいた。
- ・ゲームを通して、学んだことを振り返り、すべてクリアできた時はとてもうれしかった。 など

子育て中の方のための再就職準備セミナー

- 日時 令和6年10月23日(水)10:00～11:00
- 参加人数 1名
- 再就職に向けて、自分が希望する働き方を見つける方法や履歴書の書き方やカムバック支援サイトの利用方法等について説明が行われた。各市からは、保育園を検討する場合の入園の申込方法や申込期限、女性活躍推進事業の説明を行った。講師からは、子どもを預ける環境や雇用形態、休日等、働く上での優先順位をあらかじめ考えておいた方がよい等のアドバイスがあった。

